

CAGLIERO 11

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.28 - 2011年4月



親愛なるサレジオの宣教師、サレジオ・ミッションの友人の皆さん!

宣教師ドン・ボスコ：一生をヨーロッパで過ごし、イタリアの外へは数回旅行しただけ。しかし、その心は全世界に向かって開かれていました。2011年4月、私たちはドン・ボスコの最後の宣教の夢から125年目を迎えます。それはバルセロナでの5つ目の夢、サレジオ会についての預言です。2月にアフリカを訪れ、エチオピア、ガンベラからナイジェリアのラゴスを回ったとき、それらの場所で多くのサレジオ会員が、まだイエスを知らない多くの若者に福音をもたらす夢を、私は見ました。私たち一人ひとり、ドン・ボスコの夢を実現するために手を貸しましょう。

Václav Clement

宣教顧問 ヴァツラフ・クレメンテ神父



第16回 宣教師生涯養成コース

ローマのサレジオ大学神学部の宣教師生涯養成コースは、サレジオ会宣教部門がスポンサーとなり、2011年9月19日から12月8日にかけて開講します。

本コースは、宣教経験のある宣教師を対象とするものです。霊的成長のため、宣教活動の考察を深めるための歩みを、授業(月～金、8:45～13:00)、内省、分かち合い、祈りの体験、さまざまなグループ・団体との会合などを通して提供します。

コース2週目は合宿の形で行われ、宣教の霊性に焦点を合わせながら、兄弟的な雰囲気の中、内省の時を過ごします。最後の週(12月2～8日)は、聖地巡礼にあてられます。聖書的、キリスト論的テーマを深めるためです。コースの期間中には、ほかの見学や巡礼も企画されます。

サレジオ大学やほかの機関の国際的な教授陣がこのコースで教え、また対話や評価にも応じます。コース長は、アントニオ・エスクデーロ神父SDBです。

本コースはイタリア語で行われるため、イタリア語に習熟していないサレジオ会員の受講生は、ローマのダンテ・アリギエリ語学校で7月1日から9月16日にかけて行われるイタリア語コースを受講することが条件になります。語学コース期間中、サレジオ会宣教師の滞在先は、テスタッチョのサレジオ会共同体となります。

サレジオ会員受講生のための連絡先は、宣教部門のプラシデ・カラヴァ神父SDBです。受講を希望するサレジオ会員はカラヴァ神父に申込書を送ってください。宣教顧問ヴァツラフ・クレメンテ神父が受講希望者の管区長と相談の上、宣教師会員を受け入れます。生涯養成コース期間中、宣教師会員たちは、ほかのサレジオ会員学生と一緒にサレジオ大学共同体に滞在します。

カリエロ11読者の皆さん、主のご復活おめでとうございます!

アメリカ大陸のための宣教師募集

国・管区	言語	環境、要件
キューバ-ANT	スペイン語	会員が少ない。共産政権。小教区・ユースセンター
アルゼンチン・パタゴニア-ARS	スペイン語	サレジオ会の最初の宣教地。司牧に携わる人材が少ない。僻地の宣教。先住民族の人々
ブラジル、アマゾン-BMA	ポルトガル語、 地方言語	先住民族の人々の中での宣教活動。アマゾンの熱帯雨林
ブラジル、東北-BRE	ポルトガル語	ブラジルの最も貧しい地方で働く会員を求む
グアテマラ、 エルベテン使徒座代牧区-CAM	スペイン語、 地方言語	先住民族の人々の中での宣教活動。サレジオ会に任された使徒座代牧区。司教と一人の会員。アルタ・ヴェラバスとその周辺での宣教活動(サン・ペドロ・デ・カルハ)
エクアドル、 メンデス使徒座代牧区-ECU	スペイン語、 地方言語	1893年にドン・ボスコに任された使徒座代牧区アッシュアル・シュアル。アンデス地域(コルディジェラス)のケチュアの人々の中での宣教
メキシコ、 ミヘス司教座知牧区-MEM	スペイン語、 地方言語	1964年にサレジオ会に任された司教座管理区。人材は少なく、高齢化している。様々な先住民族の人々への司牧奉仕
パラグアイ、 チャコ使徒座代牧区-PAR	スペイン語、 グアラニ語	チャコ使徒座代牧区。会員が少ない(高齢化)。再創立の歩みをたどる宣教地
ペルー、 プカルパ使徒座代牧区-PER	スペイン語、 地方言語	アマゾンの宣教地-サレジオ会に任された使徒座代牧区。会員が少ない。様々な先住民族。ヴァレ・サグラド宣教地(ケチュア)、ユリマグアス宣教地(サン・ロレンソ)。
ウルグアイ-URU	スペイン語	ラテン・アメリカで最も世俗化した国。若者への福音宣教
ベネズエラ、 アマゾン使徒座代牧区-VEN	スペイン語、 地方言語	アマゾンの宣教地-サレジオ会に任されたプエルト・アヤクーチョ使徒座代牧区。会員が少ない。アルト・オリノコ・ヤノマミ族、その他の先住民族



サレジオ会宣教師たちから受けた カリスマを分かち合いたい

私がベネズエラ人で、中東で働く宣教師だとわかると、人々はよく次のような意見を表明します。たくさんニーズのあるベネズエラを後にし、アラビア語のような難しい言葉だけでなく、全く異なる文化を学びに行くのは、正しくないし賢くないと。ほかの新しい宣教師が私の残した仕事を引き受け、スペイン語を学び、私たちの文化に慣れるために苦勞するよりも、私が自国に残れば、もっと“効果的”に奉仕できるのではないかと。なぜ私は宣教師になりたいのでしょうか？ 正直に、真剣に識別した結果、神様が私を宣教師として、教会の交わりのうちに呼んでおられると確信したからです。確かに、ベネズエラの教会も、

管区も、多くのニーズを抱えています。しかし、私たちが貧しさの中から分かち合えるということもまた真実です。一方で、サレジオ会員としての生き方の表現において、中東管区は、ベネズエラ人サレジオ会宣教師の存在のおかげで、その分、豊かにされます。他方、ベネズエラ管区と私の家族や友人たちは、一人の宣教師を贈ったことで多くの感謝する人々の心を勝ち取りました。私自身は、どんなに想像をめぐらしたとしても決して思いも及ばなかったような、靈的・養成的・カリスマ的・文化的な機会を見いだしました。主は百倍の報いを約束してくださいましたが、主の秤がそれ以上に惜しめないことを私は体験しています。

宣教師としての生活の初めに、中東で働く実地課程生として、私の最大の挑戦はアラビア語の習得でした。とても、とても、とても難しかったです。子どもようになり、自分が役に立たないように感じました。でも意思疎通をはかる大きな望みがあったので、勉強に全力で打ち込むことに加え、人間関係を築くためにあらゆる手段を用いました。ものまね、ほほえみ、絵を描く、下手くそに話す、混乱した話し方をする、そして、共同体、オラトリオ…などで、そこに一緒にいて新しい文化と出会うことです。

宣教師部門の企画による、ローマでの新宣教師のためのオリエンテーション・コースに参加できたのは、実地課程と神学の勉強の後でしたが、私にとって大変役に立ちました。自分の選んだ宣教の道に関わる、人間学的、カリスマ的、教會的なダイナミクスについて、探求する機会になったからです。また、自分の体験について再評価を行い、将来、注意しなければならない要素について認識するのを助け、主が私に任せてくださった使命への愛を深める助けとして“インプット”を与えてくれたからです。

中東での宣教生活がかなり大変なのは明らかですが、私の最大の喜びは貧しく、助けを必要とし、すばらしく、多くを要求しながら、神に渴き、友情と、耳を傾けてもらうことに渴く若者たちと出会うことです。途方もなくすばらしい若者たちです！ それから兄弟会員たち……私たちはさまざまな文化から来ています。このような多様性のなかで一致を実現させる明らかな難しさはそのままで、そこに生まれる互いとの関わりや友情は、皆にとって実際に大きな報いになっています。私たちはキリスト教、教会、サレジオ会カリスマの普遍性をあかすものとなります。私はそこで、特に初期養成を受けている会員たちの中で、本当にわが家にいるように感じています。

今、若い司祭として、ローマのサレジオ大学で資格を取るために勉強しています。管区共同体の使命のために自分自身の貢献ができるよう、中東に戻ることを目指して養成を深めるためです。中東で、若者たちが神を見いだすよう、助けることができると望んでいます。神が共におられることを若者たちのただ中で発見するのを、彼らが助けてくれたように。もちろん、困難が数多くあるのは明らかですが、神様の計画と、神様が最後に勝利されるということは、保証されています。それがいつ、どのように実現するのか、私たちが今は知らないとしても。

宣教の召命を識別中のサレジオ会員には、二つの言葉を分かち合いたいと思います：感謝と信頼です。私たちの召命は神様からの贈りものです。しかし、私たちの先を歩んだ多くのサレジオ会員の惜しめない心の実りでもあります。彼らは私たちの国で暮らし、サレジオ会精神を私たちと分かち合うために、すべてを後にしたのです！ 今日、私たちがサレジオ会員であるのは、ドン・ボスコがトリノへ行くためにカステルヌオヴォを後にしたから、多くのサレジオ会員がイタリア各地へ行くためにトリノを後にしたから、そして数多くのサレジオ会員が、イタリア、ヨーロッパ、祖国を後にし、サレジオ会カリスマを全世界と分かち合うために出かけたからです。これほど豊かに、無償でいただいたものに、感謝の心で、自分の小さな貢献をもって応えるのは当然ではないでしょうか？

神様は私たち自身が自分のことを知る以上に私たちのことを知っておられ、私たちが自分を愛する以上に私たちを愛しておられます。人生の最も賢明な生き方は、信頼をもって神様のみ手に人生をゆだねることだと私は思います。宣教師になるようにという神様の呼びかけを聞いた人は祈り、また識別のために必要なことをするでしょう……でも、“十字架の力”を、そして“神様の計画の美しさ”を、決して疑ってはいけません！

ベネズエラ出身、中東の宣教師
アレハンドロ・ホセ・レオン・メンドーサ神父

2011年4月 サレジオ会の宣教の意向
インター・アメリカ地域：
ボランティア信徒宣教師と宣教召命のために



サレジオ会の宣教の意向

特にエクアドルで大きく発展しているサレジオの宣教ボランティア活動が、アメリカ大陸のすべての管区で、多くの奉獻者の宣教召命を生み出しますように。

私たちは2011年のサレジオ宣教の日を、次のテーマで祝います。「行って地の果てまで福音を告げ知らせなさい」。アメリカ大陸諸国ではサレジオ宣教ボランティア活動のすばらしい体験がありますが、それは過去40年の間に発達してきたものです。「子ども時代宣教会」や「長期青年宣教ボランティア」などさまざまなグループが、サレジオ宣教の日2011のビデオに紹介されています。



ご意見をお送りください。 segrgia@donboscojp.org